６月定例会の報告

令和５年６月定例会が６月２日から６月２７日までの２６日間の会期で開催されました。定例会初日には、監査報告６件、報告１１件（うち議決事件１件）、「岩国市税条例の一部を改正する条例」など９議案、請願１件からなる合計２７の事件が上程され、１報告、２議案を可決後、残りの７議案及び請願を所管の常任委員会に付託しました。

一般質問は、６月１３日から１６日までの４日間で、２３人の議員が登壇し、幅広い分野について活発な質問が行われました。全ての一般質問終了後、議案として「令和５年度岩国市一般会計補正予算（第３号）」（エネルギー価格等高騰に係る対応策等の諸経費を計上）を途中上程され、所管の各常任委員会に付託しました。

付託した各議案は、２０日、２１日に開催された各常任委員会において、審査が行われました。

最終日の２７日、各常任委員会の委員長から審査報告があり、いずれの議案も原案のとおり可決されました。

また、請願「軽度・中等度難聴者等に対する補聴器の購入等に対する補助の対象を全ての年齢に拡大することを求める請願」を採択するとともに、執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求することに決しました。

続いて、議員提出議案として、「岩国市議会議員の請負の状況の報告の一覧の作成及び保存に関する条例」及び「岩国市に市民の生命と安全を守るためのシェルター設置を求める意見書」が提出され、いずれの議案も原案のとおり可決されました。

最後に、議員の派遣を可決し、閉会しました。